

助成受給団体名	ふりがな しわちくちいきあんぜんすいしんきょうぎかい 紫波地区地域安全推進協議会
事業の名称	復興支援フォーラムⅢ 輝け岩手！ みんなでつろう安心の街
実施期間	平成25年 8月 1日 ～ 平成 25年 11月23 日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
1 フォーラムの内容	
(1) 会場:都南文化会館キャラホール	
(2) 参加者:講師1名、被災地郷土芸能3団体90名、高校生スタッフ10名、大人スタッフ他37名 入場者約1,000名	
(3) 基調講演 「生きる力」講師 スピリチュアリスト 江原啓之 氏	
(4) 復興ライブ	
① 宮古市 山口太鼓の会	
② 陸前高田市 氷上共鳴会氷上太鼓	
③ 大槌町 大槌城山虎舞	
2 子どもを守る地域安全マップコンクールの実施	
(1) 4小学校から6枚のマップの応募があった。	
(2) 岩手県地域安全マップコンクールに応募したところ、最優秀賞含む4点が入賞した。	
(3) マップ6枚を会場のホワイエに展示した。	
3 地域安全アンケートの実施	
今後の活動の参考とするためフォーラムへの意見及び安全な暮らしについてのアンケートを実施した。	
(1) 回収枚数229枚	
(2) アンケートのまとめ(別添のとおり)	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
①江原啓之氏の基調講演では、多くの人の心を癒し生きる希望を与えることができた。それによって、平穏に生活する人が増え地域の安全につながった。	
②震災後、ふるさとを離れて生活する被災者が、故郷の郷土芸能や頑張る子ども達の姿に勇気づけられ、さらに癒しの場となることができた。中には、主人を亡くして何もする気がおきないが今回のフォーラムは楽しみにしていたと言う人がいた。(参加者アンケートにより把握)	
③高校生や企業のボランティアがスタッフとして参加。地域の人達と一緒に活動する事で、良好な人間関係が保たれた。	
④ボランティア活動をする人たちを見て、自分たちも防犯活動のために何かできることがあるのではという意識が高まった。(参加者アンケートにより把握)	
⑤コミュニケーション不足の地域の絆を深めるためのフォーラムに1,000人もの人の心が一つになったことから、地域の絆を深めることができた。	
今後の課題	
アンケート内容にもあったように、来場したほとんどの人が講師江原氏のお話に感銘を受け、生きる力となり、今回の活動の目的を達した。しかし、今後の講師選択に課題が残った。	

